KYOTO TACHIBANA
DATA BOOK 2023

変化を楽しむ人であれ
京都橘学園

KYOTO TACHIBANA
DATA BOOK 2023

CONTENTS

01 学園創立120周年を迎えて
02 京都橘学園のあゆみ
04 京都橘学園機構図
05 京都橘学園の基礎データ
06 学園のマスタープラン
07 京都橘大学 教育･研究･社会連携
10 教養･キャリア教育と進路･就職サポート
11 課外活動
12 研究推進
13 情報学教育研究センター
14 産学公地域連携
15 京都橘中学校･高等学校
16 たちばな大路こども園
17 リンク集

学園創立 120 周年を迎えて

学校法人京都橘学園は、2022年に学園創立120周年を迎えました。
人と社会に尽くす自立した人材の育成を掲げ、時代に、社会に、人々の学ぶ意思に応える改革を重ね、大学・大学院、中学校・高等学校、こども園に、約8,500名の学生・生徒・園児が集い学ぶ総合学園へと成長してきました。地域・企業の皆さまやご家族、卒業生の皆さまには、日頃より本学園教育研究活動への深いご理解と温かいご支援を賜り、学園関係者一同たいへん勇気づけられております。
本学園に心を寄せてくださる皆さまに深く感謝申し上げます。

京都橘大学は、1967年に文学部単科の女子大学として開学しました。2005年の男女共学化、大学名の改称、京都の私立大学として初の看護学部設置を皮切りに医療系学部を拡充し、近畿地区最大級規模の医療系分野を擁する総合大学となりました。2021年には、AI時代の社会の要請に応える工学部・経済学部・経営学部を同時に開設。2023年には現代社会で不可欠となるデータサイエンスの基礎を全員が学ぶ総合心理学部が誕生するなど、文理横断の新たな学びの環境を充実させて「総合知」を涵養しています。教学理念「自立・共生・臨床の知」のもと、予測困難で正解のない時代だからこそ、学生自ら考えぬき選んだ道に自信をもって歩めるよう、一人ひとりの成長に寄与する教育創造に尽力しています。

京都橘中学校・高等学校は、「自立・共生」を教育理念に掲げ、継続的な教育充実・改革により確かな実績を確立しています。難関大学への進学実績は飛躍的に向上し、クラブ活動においても女子バレーボールや男子サッカー、陸上競技、吹奏楽、太鼓などにおいて全国レベルの成果を生み出しています。また、吹奏楽部は日台友情50周年を記念した台湾双十国慶節祝賀式典にて、海外の団体として初めての演奏を行い、日本台湾交流公開表彰に選ばれました。現在もアメリカのローズパレードへの3度目の出場をめざしエントリーするなど生徒たちのエネルギー溢れるパフォーマンスは世界に轟くところです。

たちばな大路こども園は、地域や自治体の皆さまから多大なるご協力を賜り、開園6周年を迎えました。教育保育理念に掲げる「自立・共生」のもと、自然、あそび、仲間を大切にした教育・保育での様々な生活・経験を通して「生きる力」の土台をつくり、園児たちが心も体もしなやかに逞しく成長するこども園として着実に前進しています。

本学園は、2023年度より新たな社会価値の創造をめざして、第３次マスタープラン（中期事業計画）を策定し、さらなる改革を進めています。時代や社会が変化するからこそ、本学園で培われる知と知の結合により、これまでにない価値を生み、自身や世界が変わるような新たな学びの環境の創出に向け、「学びで世界を変える」を合言葉に構成員一丸となって挑戦を続けていきます。また、学園と地域社会が一体となるような産官学連携の教育研究、心身の健康と人とのつながりを生みだす交流を通じて、地域全体のWell-Being実現へ貢献してまいります。

これまで学校法人京都橘学園は、学生・生徒・園児、保護者、教職員、近隣自治体や関係企業・団体の方々、数多くの卒業生によって支えられ発展してきました。改めてご支援に対し厚くお礼申しあげますとともに、引き続き本学園に対する物心両面での格別のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

2023 年 6 月

学校法人京都橘学園　理事長　片山 傳生

学校法人京都橘学園 理事長
片山 傳生

京都橘大学 学長
日比野 英子

京都橘中学校・高等学校 校長
安田 文彦

たちばな大路こども園 園長
河口 智津子

京都橘学園の
あゆみ

【創立者】

中森 孟夫（なかもり たけお）
（1868年～1946年）

1868（明治元）年
滋賀県蒲生郡（現・日野町）の農家に生まれる。

1890（明治23）年
泰西簿記学校を設立。その後、京都高等学院などを設立。

1902（明治35）年
京都橘学園の前身となる京都女子手藝学校を京都市内に設立。

1909（明治42）年
同校校主辞任。

1913（大正2）年～1919（大正8）年
ハワイ、ホノルルの日本人学校などで教鞭をとる。

創立者　中森孟夫と京都橘学園

建学の精神
「力を実業教育に注ぎて、将来自営独立の実力を得しめん」

京都橘大学と京都橘中学校・高等学校の前身は「京都女子手藝学校」（1902年設立）です。創立者である中森孟夫は、青年時代、小学校で教鞭をとる傍ら、村の青年を集めて夜学を開き読み書きを教えました。この経験の中で中森は若者への教育の大切さに思い至りました。そして、17歳で京都に遊学し、当時、近代化にとって不可欠な知識だった簿記を教える「泰西簿記学校」を23歳で設立しました。その後、女性が経済的に自立（自営独立）することの重要性を認識し、「女子のための実業教育（技芸教育）の学校」として刺繍や裁縫を教える「京都女子手藝学校」を創設しました。同校は良妻賢母主義の女子教育が中心だった当時にあって、珍しく、同時に社会的に意義ある学校でした。後に中森は同校を離れますが、場所や校種は変えつつも生涯を通して学校教育に力を注ぎました。

中森孟夫は一貫して「変化の激しい時代においてこそ、自営独立するためにも知識と技能を修得することが大事である」と考えました。また、「学習者の自然と湧き出てくる要求に応えることが私の使命である」とも考え、生涯教育に情熱を注ぎ、多くの学校設立に取り組みました。

京都橘学園の建学の精神である〈力を実業教育に注ぎて、将来自営独立の実力を得しめん〉には、こうした中森の想いが端的に表れています。

本学園の教育内容は中森の時代から現代に至るまで大きな発展を遂げました。しかし、「生徒学生に自立して生きる力を付けたい」という想いは、今日まで変わることなく脈々と引き継がれています。

名称の由来

「橘」は日本固有の柑橘樹で、みずみずしい常緑の葉と「ときじくのかくのこのみ」とも称される黄金の実はいにしえより繁栄や長寿の象徴として尊ばれています。前身の京都女子手藝学校の所在地が京都御所の西に位置していたことから、紫宸殿の前庭に植えられている「左近の桜、右近の橘」にちなんで名づけられました。

学園発祥の地

京都橘学園発祥の地は、現在の京都市中京区中立売の京都ブライトンホテルのあるところです。京都女子手藝学校が戦後に京都橘女子高等学校（現・京都橘中学校・高等学校）となり、1985年に京都市伏見区桃山に移転。京都橘大学は1967年開学より京都市山科区に位置します。

創立当時の京都女子手藝学校

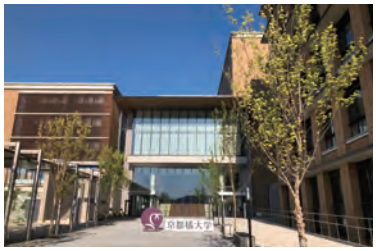
京都橘学園のあゆみ

●:こども園　●:中学校・高等学校　●:大学

1902年	明治35年	●中森孟夫により京都女子手藝学校として京都市上京区に創立
1904年	明治37年	●「女子大学設立予備」の目的をもって高等文学部を開設
1908年	明治41年	●財団法人として文部大臣より認可
1910年	明治43年	●京都高等手藝女学校に改称
1948年	昭和23年	●新制高等学校として認可／校名:京都手芸高等学校
1951年	昭和26年	●私立学校法制定により財団法人を学校法人京都たちばな女子学園に組織変更
1957年	昭和32年	●校名を京都橘女子高等学校に改称
1967年	昭和42年	●高田三郎が初代学長に就任 ●学校法人京都橘女子学園に改称 ●京都市東山区(現山科区)に橘女子大学開学
1974年	昭和49年	●新村猛が第2代学長に就任
1978年	昭和53年	●長廣敏雄が第3代学長に就任
1980年	昭和55年	●細野武男が第4代学長に就任
1985年	昭和60年	●伏見区桃山に高等学校を移転
1988年	昭和63年	●大学名を京都橘女子大学に改称
1989年	昭和64年 平成元年	●越智武臣が第5代学長に就任
1991年	平成 3年	●文系大学進学コースを設置
1992年	平成 4年	●千地万造が第6代学長に就任 ●女性歴史文化研究所開設 ●外国語教育研究センター開設
1993年	平成 5年	●「清心館」完成
1994年	平成 6年	●大学院歴史学専攻設置
1995年	平成 7年	●門脇禎二が第7代学長に就任 ●総合進学(A)コース、特別進学(B)コースに改編
1996年	平成 8年	●大学院文学文化専攻設置 ●国際教育(C)コース設置
1997年	平成 9年	●文化財学科設置 ●「清史館」完成
1999年	平成11年	●大学院歴史学専攻(博士後期課程)設置
2000年	平成12年	●大南正瑛が第8代学長に就任 ●文化政策研究センター開設 ●特別進学(B)コースの男女共学化 ●校名を京都橘高等学校に改称 ●木内正廣が校長に就任
2001年	平成13年	●文化政策学部設置 ●「清風館」完成 ●学校5日制に移行 ●リエゾンオフィス設置
2002年	平成14年	**学園創立100周年、大学開学35周年**
2003年	平成15年	●全コース男女共学化 ●国際教育(C)コース、全員1年留学プログラム実施 山岸永一が理事長に就任 ●大学院文化政策学研究科(博士前期・後期課程)設置
2004年	平成16年	●第二体育館完成 ●田端泰子が第9代学長に就任
2005年	平成17年	学園名を京都橘学園に改称 ●大学名を京都橘大学に改称 ●男女共学化 ●看護学部設置 ●文化政策学部に現代マネジメント学科設置 ●看護実践異文化国際研究センター開設 ●言語教育センター開設 ●「清優館」「清香館」完成
2006年	平成18年	●看護教育研修センター開設
2007年	平成19年	●文学部に児童教育学科設置 ●「児優館」完成 ●教育保育支援センター開設 ●認定看護師教育課程(WOC看護分野)開講 梅本裕が理事長に就任
2008年	平成20年	●現代ビジネス学部設置(文化政策学部を名称変更) ●現代ビジネス学部に都市環境デザイン学科設置(文化政策学科を改組) ●大学院看護学研究科設置 ●「クラブハウス」「クリスタルカフェ」完成
2009年	平成21年	●教職保育職支援室開設 ●総合進学(A)・英数特進(B)・国公立特進(S)の3コースに再編
2010年	平成22年	●青木圭介が第10代学長に就任 ●人間発達学部設置 ●稲吉陽作が校長に就任 ●伏見区桃山(高校敷地内)に京都橘中学校開校 ●第2グラウンド完成 ●中学校に国公立大学進学中高一貫(V)コース設置
2011年	平成23年	●総合教育センター開設
2012年	平成24年	**学園創立110周年、大学開学45周年** ●健康科学部設置 ●健康科学部心理学科に通信教育課程設置 ●文学部に歴史遺産学科設置(文化財学科を名称変更) ●総合学術推進機構開設 ●「優心館」「中央体育館」完成
2013年	平成25年	●細川涼一が第11代学長に就任 ●心理臨床センター開設
2014年	平成26年	●三輪欣之が校長に就任 ●大学院看護学研究科に博士後期課程設置
2015年	平成27年	●現代ビジネス学部に経営学科設置(現代マネジメント学科を改組) ●学生コミュニティ施設・研究室棟「響友館」完成
2016年	平成28年	●健康科学部に救急救命学科設置 ●大学院健康科学研究科設置 ●理学療法教育研修センター開設 ●国公立大学進学中高一貫(V)・国公立特進(S)・特別進学(E)・総合進学(A)の4コースに再編
2017年	平成29年	●国際英語学部、発達教育学部設置(人間発達学部を改組) ●大学院文学研究科歴史文化専攻設置(2専攻を改組) ●大学院現代ビジネス研究科設置(文化政策学研究科博士前期課程を改組) **学園創立115周年・大学開学50周年**
2018年	平成30年	●健康科学部に作業療法学科・臨床検査学科設置 ●新教室棟「啓成館」完成 ●幼保連携型認定こども園 たちばな大路こども園開設
2019年	平成31年	●大学院現代ビジネス研究科に博士後期課程設置 ●日比野英子が第12代学長に就任 ●生命健康科学研究センター開設
2021年	令和3年	●経済学部経済学科設置 ●経営学部経営学科設置 ●工学部情報工学科設置 ●工学部建築デザイン学科設置 ●大学院健康科学研究科に博士後期課程設置 ●新棟「アカデミックリンクス」完成 ●新棟「mican」完成
2022年	令和4年	**学園創立120周年** ●「KYOTO TACHIBANA スタジアム」完成
2023年	令和5年	片山傳生が理事長に就任 ●総合心理学部総合心理学科設置 ●選抜類型、総合類型の2類型に再編

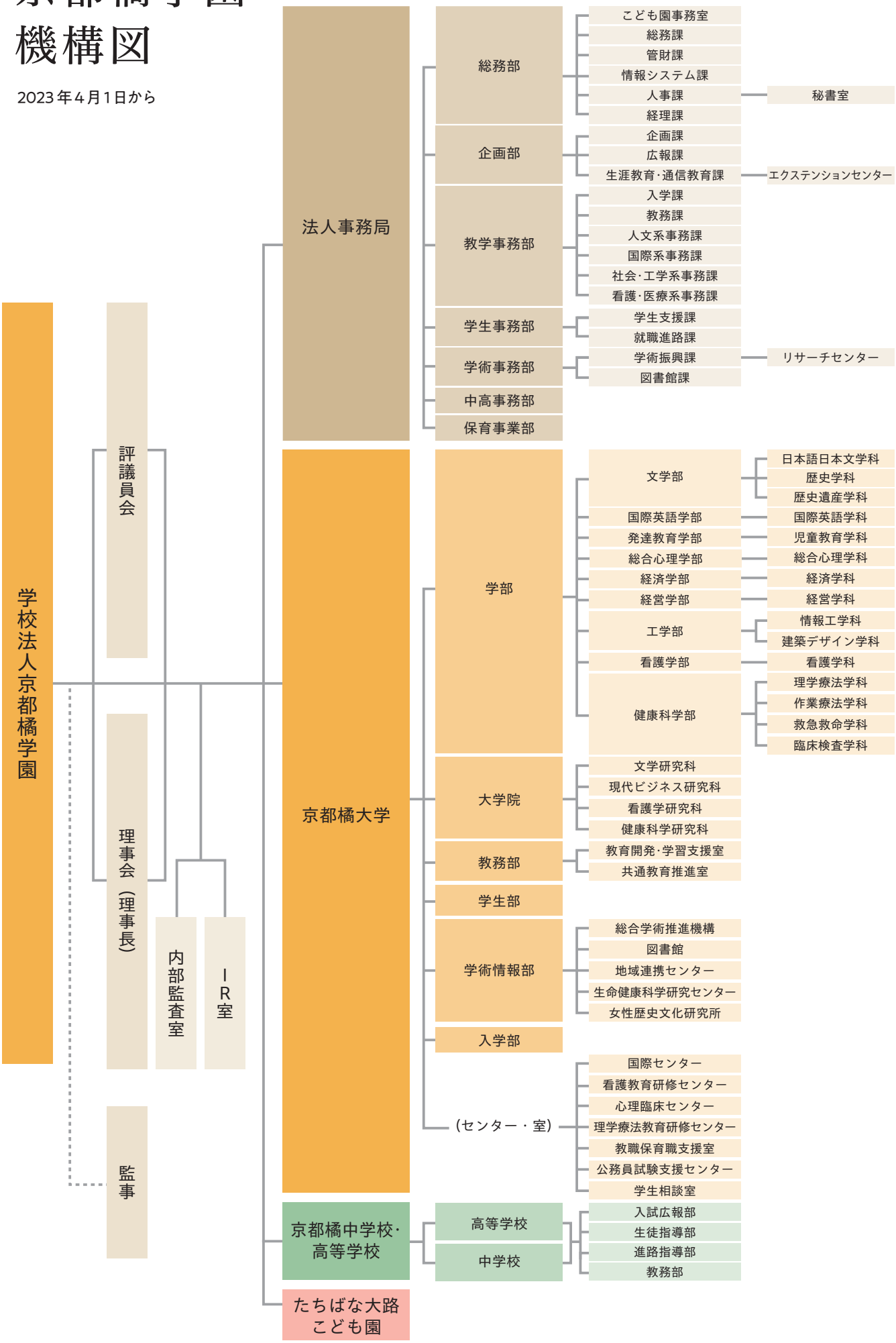
1960 年代（開学当初）

2000 年代


2022 年

京都橘学園
機構図

2023年4月1日から



京都橘学園の基礎データ

2023年5月1日現在
※(　)は男子内数

京都橘大学・大学院

学部	国際英語学部	文学部	発達教育学部	総合心理学部	現代ビジネス学部	経済学部	経営学部	工学部	看護学部	健康科学部	計
在籍者数	440名 (169)名	1,004名 (447)名	589名 (128)名	98名 (33)名	※2020年度まで 350名 (192)名	747名 (542)名	819名 (560)名	690名 (518)名	405名 (36)名	1,247名 (538)名	6,389名 (3,163)名

研究科	文学研究科	文化政策学研究科	現代ビジネス研究科	看護学研究科	健康科学部研究科	計	通信教育課程 健康科学部心理学科	通信教育課程 総合心理学部総合心理学科
在籍者数	8(5)名	1(1)名	10(5)名	23(3)名	56(42)名	98(56)名	※2022年度まで 1,356(302)名	225(85)名

2023年度入試における学部別志願・合格状況

学部	国際英語学部	文学部	発達教育学部	総合心理学部	経済学部	経営学部	工学部	看護学部	健康科学部	計
志願者数	1,365名	3,604名	1,147名	2,121名	2,723名	2,725名	2,573名	1,436名	3,660名	21,354名
合格者数	801名	1,699名	505名	408名	1,169名	1,067名	927名	315名	969名	7,860名

●都道府県別在籍者数(学部生のみ)

北海道・東北	28名
関東	51名
甲信越	69名
北陸	337名
東海	290名
近畿	4,849名
中国	325名
四国	266名
九州・沖縄	163名
検定・その他	11名
合計	6,389名

●教員数

教授	102(80)名
准教授	48(30)名
講師・助教	68(42)名
助手	11(3)名

●職員数

専任職員	148(76)名
臨時職員	35(0)名

●卒業生数合計
(2023年3月／総数)

25,552名

京都橘中学校・高等学校

中学校	1学年	2学年	3学年	計
生徒数	84(38)名	67(31)名	73(26)名	224(95)名

高等学校	1学年	2学年	3学年	計
生徒数	384(154)名	332(154)名	412(181)名	1,128(489)名

たちばな大路こども園

	1号認定	2号認定	3号認定	計
園児数	80(48)名	80(43)名	56(22)名	216(113)名

●土地・建物面積

	京都橘大学	京都橘中学校・高等学校	たちばな大路こども園
[建物面積]	[70,964㎡]	[18,231㎡]	[1,681㎡]
土地	106,359㎡	36,479㎡	3,044㎡

●教員採用試験・公務員採用試験合格率

教員採用試験等 現役正規合格実績
(2022年度実施)

幼稚園教諭・保育士(私立等含む)
92.3%

公立小学校教諭
86.4%

救急救命学科 公務員採用試験合格実績〈合格率〉
(2023年3月卒業生)
95.5%

●国家試験合格実績 (2023年3月卒業生)

看護学科〈合格率〉

看護師	保健師	助産師
98.8%	100%	100%

救急救命学科〈合格率〉
救急救命士
100%

作業療法学科〈合格率〉
作業療法士
97.1%

理学療法学科〈合格率〉
理学療法士
98.3%

臨床検査学科〈合格率〉
臨床検査技師
93.0%

●就職率 ※1

97.3%

就職希望者数 1,013名 ※2
就職者数 1,041名 ※3

●海外提携大学

11カ国・地域
40大学

アメリカ、イギリス、オーストラリアなどの英語圏をはじめ、中国・韓国などのアジア圏を含む11カ国・地域の40大学と提携しています。

※1 調査時点…2023/4/1
※2 就職希望者の定義…民間企業もしくは公務員等の進路希望届を提出した者の数(進学、自営業、家事手伝い、留年、資格取得希望者は含まず)
※3 就職者(内定者)の定義… 卒業時提出の進路登録票に正規職員と記入した者(常勤講師、1年以上の非常勤講師として採用された者を含む)の数。
進路登録票未提出者、契約期間1年未満の非常勤職員、非常勤講師、アルバイト、パート等の非正規は含みません。

学園の
マスタープラン

本学園では、変化が激しく予測困難な時代において学園の羅針盤となるマスタープランを策定し、全構成員一丸となって取り組んでいます。2023 年からスタートした**〈第 3 次マスタープラン〉**では、社会が凄まじいスピードで複雑に変化するなか、既成概念に捉われない、時代に先駆けた改革を実行し「学びで世界を変える」ことをめざします。

「よりよい学びや経験を提供し、学生・生徒・園児等が触れる世界を変える」
「これまでにない新たな価値を創造し、人々が住む世界をより良く変える」

社会価値創造の方向性　第 3 次マスタープランでは、以下の 3 つの方向性で新しい社会価値の創造をめざします。

情報学教育の充実 / 総合知の醸成	医工連携強化	教育創造
文系理系を融合した教育研究や通信・メディア教育の充実を通して、より多くの人々に良質な教育を届ける。	学園の強みをさらに発展させ、地域社会の健康増進やより良い医療の提供に貢献する。	前例に捉われないアプローチで、教育環境・内容・方法の転換に取り組み、社会に新たな学びの形を示す。

MASTER PLAN 2027
京都橘学園中期重点計画

※計画内容はすべて予定であり変更することがあります

マスタープラン
特設サイト

社会とつながり、未来をつくる　－新たな価値創造への歩み－

01 工学系研究科を基軸に AI 時代の社会課題へ挑む

情報学の高度化に向けて、工学系研究科を新設し、AI・IT 分野の専門家を育成します。さらに情報系教育研究センターを設置し、社会人を対象に情報学と他分野を横断した実践的な教育プログラムを展開し、AI 時代における社会課題の解決をめざします。

02 メディア/アート・通信教育を起点とした新たな教育展開と地域創造へ

メタバースやeスポーツ、デジタルアートなどへの注目が高まる中で、デジタルアート・メディア分野におけるクリエイターやエンジニアを育成するデジタルメディア系学科を新設します。さらに同学科では通信教育課程を設け、社会人向けの教育と地域社会への展開をめざします。

03 人々の健康促進・地域社会医療充実に貢献

工学・医療の学び充実に向けて、ロボティクス系学科、臨床工学系学科を新設します。工学系、看護･医療系の学部間連携を強化し、各分野から IT 技術を活用できる技術者・専門家を育成します。さらに、スポーツ分野の充実や健康医療施設の検討など、地域社会への展開にも取り組みます。

04 社会へ開かれた新たな教育保育の提案

「たちばな教養学校 Ukon」の開講や全学的な教養教育の改革、図書館のリニューアルなど､学びの質的転換に取り組みます。また、リカレント教育やエクステンション教育を拡充し、より広く本学園の教育を社会に届けることをめざします。

05 世界と協働できる人材を育成

海外大学との多角的な連携を実現し、多様な留学生との交流を生み出せるように国際化をめざします。通信教育も活用しながら、学生のグローバルな感覚を培い、海外を舞台に活躍できる素養を育みます。

06 成長し続ける組織の構築・文化の醸成

改革推進のために、学校法人としての基盤強化に向けてガバナンス体制強化に取り組みます。また、変化し続けていける組織文化を大切にして、人材育成、業務の DX 化などを推進。学園構成員が教育研究活動を通して新しい文化を生み出す土壌をつくります。

京都橘大学
教育・研究・社会連携

教学理念　「自立・共生・臨床の知」

本学での学びが多角的に物事を検討し、判断し、決定できる「自立」の力を育み、世界中のさまざまな文化や経済の仕組みをもつ人々と理解しあえる「共生」の姿勢を身につけ、学内外のフィールドで学んだ成果を社会へ還元する「臨床の知」へつなげることを目標にしています。

●京都橘大学 学部・学科

国際英語学部	国際英語学科
文学部	日本語日本文学科／歴史学科／歴史遺産学科
発達教育学部	児童教育学科
総合心理学部	総合心理学科
経済学部	経済学科
経営学部	経営学科
工学部	情報工学科／建築デザイン学科
看護学部	看護学科
健康科学部	理学療法学科／作業療法学科／救急救命学科／臨床検査学科

●京都橘大学 大学院 研究科

- 文学研究科
- 現代ビジネス研究科
- 文化政策学研究科
- 情報学研究科
- 看護学研究科
- 健康科学研究科

NEW ！ 日本の DX 化を牽引していける人材育成へ

2024 年 4 月、情報学研究科開設へ

情報通信技術を活用して社会・産業における課題解決や新たな価値創出を担う高度情報専門人材を育成します。本研究科では、情報通信技術を起点とした課題解決や新たな価値創造の実現にむけて、情報通信技術に関する高度な専門性とその実践能力を有する人材を養成します。

2026 年 4 月、工学部デジタルメディア学科※ 開設へ

情報通信技術の基礎を確実に身につけたうえで、多様なメディアに関する技術やセンスを磨きます。IT とアートを融合させたカリキュラムを備え、次世代のコンテンツを創造できる「工学知識・技術豊富なクリエーター」や「メディアセンスを備えたＩＴエンジニア」を育成します。

2026 年 4 月、工学部ロボティクス学科※ 開設へ

機械・電子・情報などの総合的な工学知識・技術を幅広く身につけ、ロボットを含む機械技術の研究・開発や運用を担う人材を育成します。本学園の強みである医療健康と工学分野を発展させ、人々の健康増進・地域社会の医療充実に寄与することをめざします。

2026 年 4 月、健康科学部臨床工学科※ 開設へ

患者の命に直接関わる人工呼吸器、人工透析装置、人工心肺装置などの生命維持管理装置を操作して治療を補助したり、機器の保守や点検を行ったりする医療機器のプロフェッショナルである臨床工学技士を養成します。

※　名称はいずれも仮称、2026年4月開設予定（設置計画中）。計画内容は予定であり変更することがあります。

京都橘大学
教育・研究・社会連携

90 秒でわかる
学部学科の面白さ！
Special movie

京都橘大学の教育の特長

1 クロスオーバー教育で文理横断の「総合知」を育む

国際、人文、教育、社会、工学、看護医療系といった文理多彩な 9 学部 15 学科が 1 キャンパスに集結。学部の垣根を超えた交流と学びにより、幅広い考え方や価値観を育みます。

- 他学部の科目から自身の学びに生かせるクロスオーバー科目を履修し専門性 ＋ α の力を身につけます
- 複数学科合同で取り組む課題解決型プロジェクトで文系理系にとらわれない思考力と課題解決力を育みます

2 産学公連携による実践的な学びを展開

企業や自治体と連携した PBL（課題解決型学習）科目を多数開講しています。また、豊富なインターンシップ科目を整え、早期から社会と連動した学びを展開します。

- 企業や自治体の具体的な課題について、事業所担当者とともに考える PBL 科目を多数開講
- 国内外問わず豊富なインターンシップを実施
- 1 回生から段階的にキャリア教育科目を配置し、自律的に自身のキャリアを描く力を育みます

3 BYOD（Bring Your Own Device）と AI データサイエンス教育を全学的に推進

2022 年度より、数理･AI･データサイエンスの知識･能力を身につける「たちばな AI･データサイエンスプログラム」を実施しています。また、個人のノートパソコンを持参して学ぶ BYOD を推進し自律的に学ぶ力の養成と、高度情報化社会に対応できる力を育みます。

- IT リテラシーやデータサイエンスなど、学年や習熟度に応じて文理問わず学生が主体的に学べるプログラム
- プログラミングスキル、社会におけるデータや AI の利活用方法など実社会に活かせる力を育みます
- 文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定

（認定期限：令和 10 年 3 月 31 日まで）

4 伝統の少人数教育によるきめ細かな指導

学生 1 人ひとりとしっかり向きあえるよう、学生数 6,389 名に対し 229 名の専任教員が在籍（2023 年 5 月 1 日現在）。専任教員 1 人当たりの学生数は約 27 名で、ゼミでは徹底した少人数指導を行っています。

- 教員 1 人あたりの学生数 27 名
- クラスアドバイザー制により 4 年間通じてきめ細かな指導体制
- クラス担当と就職進路課との連携によるキャリアサポートも

5 新たな学びの展開

通信教育課程との連携により ICT 教育を先進的に取り入れ、通信教育と通学による学びの往還で新たな学び方を展開していきます。新しい社会価値の創造にむけて、教学改革、研究の高度化、地域・社会連携、キャンパスの国際化など更なる改革を進めます。

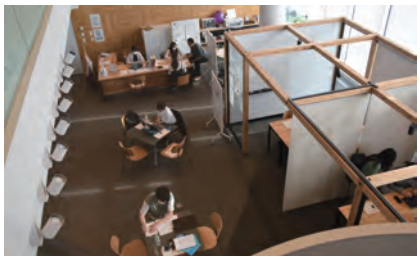
京都橘大学
教育・研究・社会連携

新しい時代を創造するキャンパス改革

「つながり」と「実践」を促すアカデミックリンクス　2021年3月竣工

Special movie

本学が築き上げてきた暖かみのある雰囲気と最新のテクノロジーを融合させ、学生・教職員などさまざまな人との「つながり」と「実践」を促す施設です。最新のAI･IT研究設備、ラーニングコモンズ、大教室、PC演習室、事務室などが集結し、新しい価値を創造する拠点となっています。



永遠に完成しない建物「mican（ミカン）」　2021年9月竣工

Special movie

建物の中心部には、無印良品 京都山科と協働で創ったラーニングスペース「UICK（ウィック）」を設置し、学生や地域の方が様々に活動できる空間となっています。学生たちが自由に学び、多様な交流を生み、また、時代にあわせて学生自身の手で成長、発展していけるように「テンポラリーアーキテクチャー（仮設建築）」というコンセプトを掲げています。

U	Unite	共通の目的、ビジョンの集まる場
I	Impact	面白いもの、迫力のあるものを考える場
C	Connect	人やモノの絆が生まれる場
K	Knot	人が結びつながる場

最新鋭のテクノロジーを駆使した次世代型スポーツ施設「KYOTO TACHIBANA スタジアム」　2022年3月竣工

Special movie

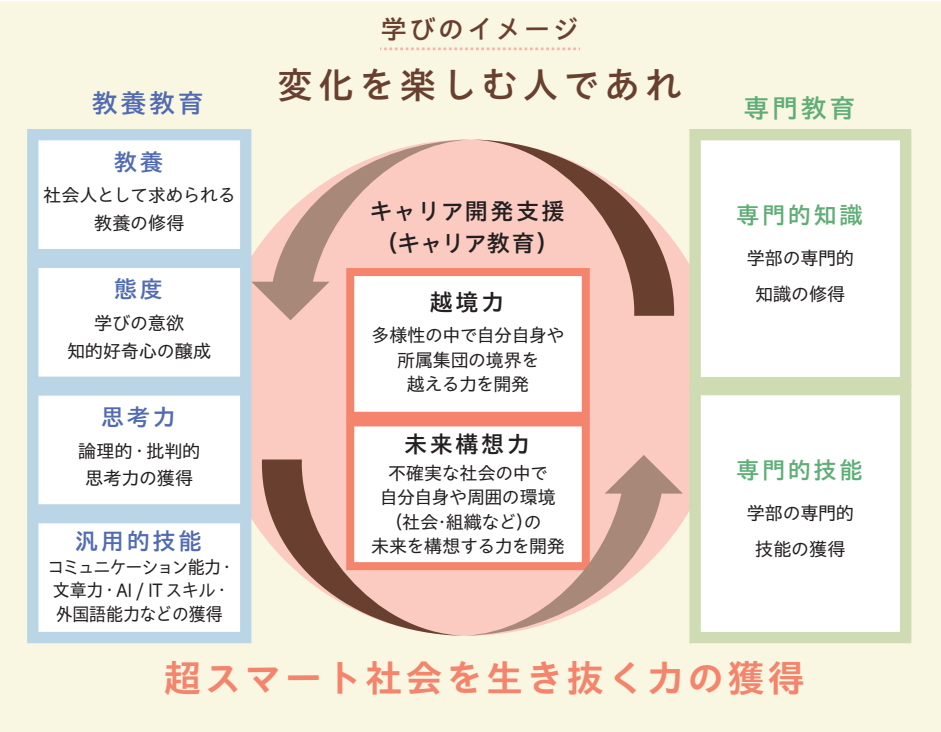
人工芝のサッカーコートをメインとし、フットサルコート、テニスコート、ビーチスポーツコート、2階建てのクラブハウスからなる本学園最大規模のスポーツ施設です。メインサッカーコートには最新の AI カメラを完備し、医工連携型の研究を推進。また、京都府下では初となる常設ビーチスポーツコートもあり、日本を代表する選手の輩出をめざします。地域交流活動の創造拠点として発展していきます。

教養・キャリア教育と
進路・就職サポート

新しい世界を創造する人材へ

■教養・キャリア教育【正課】

社会や自らの変化を楽しみながら、新しい時代に挑んでいける学生を育成するべく、これからの社会を生き抜くために必要となる能力や態度を、カリキュラム全体で涵養します。



PICK UP

キャリア教育の特徴

「越境力」と「未来構想力」の往還によるキャリア教育

1回生前期からはじまるキャリア教育科目（必修）や国内外でのインターンシップなどの産学公連携科目を段階的に受講し「越境力」と「未来構想力」を育みます。2つの力の往還により、自律的にキャリアを描く力を身につけ卒業後のキャリアにつなげます。

■就職支援プログラム

学生一人ひとりを個別に支援するとともに、業界･企業との多彩な接点を用意しています。また、父母（家庭）との連携体制や、就職決定者から低回生へのフォローなど、就職活動生を大学全体でバックアップしています。

- 地方自治体と連携、U･I ターン就職支援を強化
- 大学と父母が連携して総合的に支援
- 公務員になりたい学生を公務員試験支援センターが強力バックアップ
- 教職保育支援室で教職・保育職をめざす学生をサポート

課外活動

■クラブ・サークル

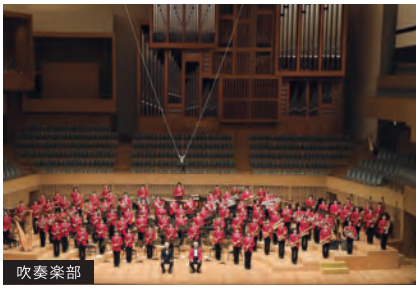
2023年度は、体育系・文化系あわせて56のクラブ・サークル団体があり、多くの学生が所属しています。スポーツを通した人間形成や世代を超えたスポーツ文化の涵養とwell-beingの形成と発展を追求することをスポーツ振興の目的としています。

- **大学強化クラブ**　女子バレーボール部　サッカー部　弓道部　吹奏楽部
- **チャレンジクラブ**　3X3 部　京炎そでふれ！部

女子バレーボール部

サッカー部

弓道部


吹奏楽部

クラブ・サークル団体
56
29 体育系
27 文化系

救急救命部

京炎そでふれ！部

3×3部

準硬式野球部

居合道部

書道部

ダンス部

■奨学金制度

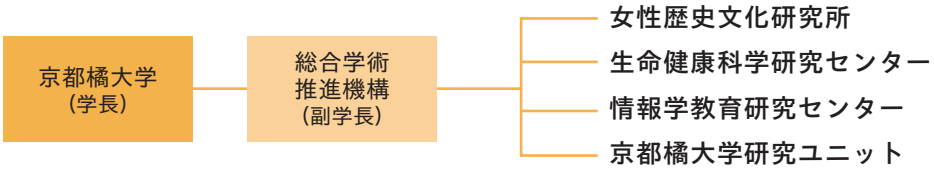
多彩な奨学金制度で学びをサポートしています。

- 本学独自の奨学金制度（京都橘大学入学時成績優秀者特別奨学金、京都橘大学つながるたちばな修学支援給付奨学金、京都橘大学地方創生・進学支援奨学金、留学先授業料支援制度など）
- 協定に基づく奨学金制度（京都第二赤十字病院特別奨学金）
- 公的奨学金制度（高等教育の修学支援新制度、日本学生支援機構貸与奨学金、病院貸与奨学金など）

研究推進

1967 年の開学以来女子教育に力を注ぎ、1992 年には女性史を中心に据えた西日本初の研究機関として女性歴史文化研究所を開設。また、今日に至るまで、研究のグローバル展開や自治体との協定、連携による産官学一体的な活動を推進する一方で、大学院の充実やリエゾンオフィスの設置など研究促進と支援のための組織づくりも強化してきました。研究者の知的好奇心・探究心を大切に、既存の学問の枠に留まらない独創的かつ先端的な研究が生みだされる自由闊達な環境を整備し、学際的な研究へと発展させていきます。

■主な研究機関・センター［研究組織体制図］



■総合学術推進機構では、本学の教学理念や学問・研究分野の特徴を活かした 4 つの重点研究分野を以下のように設定しています。

●医療と情報技術・データサイエンス

超高齢社会をむかえた現在の日本において、健康寿命を延伸し、活力のある社会を生み出すことは喫緊の課題となっています。こうした課題に対応するため、近年、飛躍的に発展したセンシング技術などの情報通信技術を活用し、それによって得たデータ（ビッグデータを含む）を解析することで、病気の予兆を早期に発見し、いわゆる未病の段階で健康状態の改善を図ることが期待されています。こうした情報技術・データサイエンスを活用した医療システムやそれを支える技術、さらにそうした技術や医療システムを社会の中で活用するためのビジネスモデルや公共政策のあり方を対象とする研究領域です。

●持続可能な共生社会～京都再生を中心として～

2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」が注目されているように、持続可能な社会を実現していくことは人類共通の課題です。大学の位置する京都では繊維関係だけでなく金属加工系などのものづくり産業も全体に衰退傾向にあります。コロナ感染の影響もあり、インバウンド需要の後退により観光産業もきびしい状況です。また、マンションや団地など住居を含む都市再生も課題です。これらの課題ではダイバーシティ、インクルージョンに配慮したレジリエンスな共生社会を実現することが重要になります。このような持続可能な共生社会について、人文科学、社会科学、自然科学のあらゆる領域から総合的にアプローチする研究領域です。

●こころとからだ

人間のこころとからだの結節点である脳が生命科学の最後のフロンティアとも言われるように、こころとからだの関係は未だ十分な解明がなされていない領域です。この領域における研究対象には心理学と生命健康科学のさまざまな領域を中心にアプローチすることが可能です。また、研究の成果は、医療や教育といった人を対象とする研究領域だけでなく、行動経済学などに見られるように社会を対象とする研究領域や、ディープラーニング、ロボティクスをはじめとする工学の領域などへの応用も期待されます。さらに、このこころとからだの研究分野はリハビリテーションの研究成果を地域に還元し、地域貢献につなげることのできる研究領域です。

●女性の歴史を学び、女性の未来を考える

2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ（SDGs）」において、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントが謳われ、日本においても「女性の活躍推進のための開発戦略」が策定され、女性の教育問題や社会進出に対する様々な施策が実施されてきています。本学では、これまで女性歴史文化研究所を中心に「女性史」について様々な研究がなされてきました。これらの研究をベースに、様々な学部の教員で「女性の歴史を学び、女性の未来を考える」研究を推進することで、社会のジェンダー平等につながる本学らしい取り組みの推進が期待される研究領域です。

情報学教育研究センター

2023 年 10 月「情報学教育研究センター」開設へ

情報学教育研究センターは、企業等との連携を通じで情報学に関する先進的な研究成果を創出・社会還元するとともに、情報学分野における社会人向けリカレント教育を実施します。今後、主に以下の事業に取り組み、研究および人材育成の観点から AI 時代の社会発展に寄与することをめざします。

社会人向け教育プログラムで即戦力人材育成へ

2023 年 秋より、社会人を対象に「情報学の体系的知識獲得を目指したリスキリング・プログラム」が始動します。このプログラムは文部科学省の「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択されています。

地域中核を担う情報学研究拠点へ

学園の強みである医療と工学を発展させ、ヘルスデータサイエンス分野を中軸とした研究推進を構想しています。2024 年 4 月竣工をめざし、研究拠点「ICS 研究デザインスタジオ（仮称）」も建設されます。このプロジェクトは、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に取り組む滋賀大学との連携のもと推進します。また、多様な企業との連携により創出された研究成果を社会へ還元することをめざします。

文部科学省推進の各種事業に採択されました！

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に参画が決定！

「大学・高専機能強化支援事業〈支援 1〉学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援」に採択！

文部科学省が推進するデジタル・グリーン等の分野を牽引する高度専門人材育成に向けて意欲ある大学の成長分野への学部転換等の改革を支援するものです。本学は、2026 年のデジタルメディア学科 (仮称) およびロボティクス学科 (仮称) を新設することを提案し採択されました。

文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に本学のプログラムが 2 件採択！

1 メニュー A：

デジタル分野・グリーン分野リスキルプログラムの開発・実施

本学はデジタル分野において、企業で働く IT エンジニアや IT・AI 分野に興味のある社会人を対象に「情報学の体系的知識獲得を目指したリスキリング・プログラム」を実施します。

2 メニュー C：

各分野のエキスパート人材育成に向けたプログラム開発・実施

病院内で求められる救急救命措置、感染防御処置等を実践できる即戦力人材の育成をめざし「パフォーマンスバリデーションとチーム医療を基盤とする救急救命士・看護師等の医療従事者のための救命リカレント教育プログラム」を実施します。

産学公地域連携

「地域連携型教育プログラム」実績集

教学理念である「臨床の知」を「臨床＝現場＝地域」と位置づけ、地域から学び、地域と共生する教育研究や地域連携活動を推進しています。大学と地域をつなぐ窓口として「地域連携センター」を設置し、ニーズに応じた活動支援体制の構築や、活動成果の発表・発信、自治体や外部諸関係機関・団体との連携を推進しています。

■「学まち連携大学」促進事業の積極的活用

2020年度から2期目の採択を受け「山科・醍醐地域で『変化を楽しむ』地域連携型教育プログラム」を実施しています。

1 「見える!! 地域連携」プロジェクト

地域連携活動を下記4つの視点で可視化（見える化）します。

学生ニーズの可視化
▶学生による公募型地域連携活動への助成事業「学まちチャレンジ！プロジェクト」

教育効果の可視化
▶PROGテスト※による学生の成長度測定事業
▶卒業生へのインタビュー事業
※ジェネリックスキルをリテラシーとコンピテンシーの2つの観点から測定

活動成果の可視化
▶京都薬科大学との共同学生団体ME-ME（ミーム）による地域活性化事業の発信

地域の変化の可視化
▶地域連携活動対象地域におけるアンケート調査事業
▶大学認知度調査事業

2 「区民に身近な大学へ」プロジェクト

本学と同じく山科区に所在する京都薬科大学と共同し、3つの地域貢献活動を展開します。

- 市民向け共同公開講座の実施
- 共同学生団体の設立・活動の展開
- 山科・醍醐地域医療人養成プラットフォーム

※「学まち連携大学」促進事業
2016年度より公益財団法人大学コンソーシアム京都が京都市と協働で行う助成事業。
地域連携の取り組みを学部・学科の枠を超えて、大学の組織的な取り組みとして定着させ、充実・発展させることを目的に、2016年度から実施しています。
本学は第1期（2016～2019年度）、第2期（2020～2023年度）とも採択を受けています。

■学まちチャレンジ！プロジェクト実績

学生の主体的な地域活動を支援する取り組みです。
地域の活性化に貢献するとともに学生の学び、成長にもつなげています。

OSJ橘（子ども向け書道体験）

救急救命サークルTURF（救急救命講習会）

京都信用金庫山科支店と連携した健康イベント

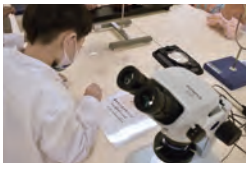
※2023年度は上記の他に5団体が活動しています。

■地域連携活動の実績

たちばなこども食堂

食を通じて対話を重ね、世代や立場を超えたコミュニティを創出することを目的に、2022年度から実施している取り組みです。

たちばなサイエンスデー



「大学の研究にふれてみよう」をテーマに、各学科や学生団体がブースを設置し、小学1年生から6年生を対象に趣向を凝らした内容でさまざまな体験やものづくりを実施します。

PICK UP まちづくり研究会

京都・山科地域活性化の活動をおこなう学生団体。現在は、約30名の学生が所属しており、自ら地域を体験・体感し、より良くするためのまちづくり活動に参加しています。

山科の地域資源「清水焼」を活かしたあかりイベント「七夕陶灯路」

京都橘中学校・高等学校

中学校	国公立大学進学中高一貫（V）コース
高等学校	選抜類型
	総合類型

教育理念　「自立・共生」

■魅力ある学校づくり「未来プロジェクト」

魅力ある学校づくりをめざし、「ASTM（進学プログラム）」「ICT教育」「選べる放課後TIME」「探究活動」「グローバル教育」などを柱に、「未来プロジェクト」を推進中です。生徒の志向に応じて放課後や土曜日を有効活用できる自由度の高いカリキュラムを採用し、生徒や教職員がワクワクする希望を持ちながらチャレンジ精神を育める教育を展開しています。

■京都橘独自の学習スタイルで、生徒の進路を実現

生活や学習環境、目標設定からその実現へのプロセスなどについて、教職員が一丸となってサポートする「橘メソッド」で、生徒の夢や望む進路の実現を後押ししています。2023 年度大学入試では、東京大1人、大阪大4人、神戸大2人など難関国立10大学・医学部医学科に10人合格、私立大へは過去最高の1,247人が合格しました。中でも、早慶9人、MARCH12人、関関同立へは178 人と過去最高の合格者数となりました。

■クラブ活動でも躍進！全国の大舞台で橘旋風

写真提供：総統府

全国レベルのクラブの活躍はめざましく、陸上競技部の瀧野未来さんは2023年6月のU20アジア選手権に日本代表（400mハードル）として出場します。また、2022年10月台湾で行われた「双十国慶節」の祝賀式典に、吹奏楽部が海外の団体として初めて参加しパフォーマンスを披露しました。台湾中を魅了するなど世界的に注目されています。

陸上競技部

- 14年連続21回インターハイ出場
- 4×100m、4×400mリレーでは全国レベルの大会で好成績
- 2022年度全国高校主要大会三冠達成

男子サッカー部

- インターハイ5回出場
- 全国高等学校サッカー選手権大会9回出場
- Jリーガー12人輩出

吹奏楽部

- 2022年度全日本マーチングコンテスト金賞
- 全国各地での公演やメディアへの出演も多数

女子バレーボール部

- インターハイ、春の高校バレー25回出場
- 2019年全国私立高等学校バレーボール選手権大会優勝
- 2019年第74回国民体育大会バレーボール競技会ビーチバレーボール種目（少年女子）準優勝

たちばな大路こども園

●概 要

1号認定	幼稚園機能 3歳～5歳
2号認定	保育園機能 3歳～5歳
3号認定	保育園機能 0歳～2歳

教育・保育理念「自立・共生」

本園は「幼保連携型 認定こども園」として、保護者の就労に関わらず、就学前の教育・保育を一貫して提供する施設です。また、幼稚園や保育所、認定こども園に通っていない場合でも、子育て相談や親子の集いの場の提供など、地域の子育ての支援を行っています。
※認可幼稚園と認可保育所の認可基準を満たし、学校及び児童福祉施設としての法的位置付けを持つ単一の施設です。

■教育・保育目標　心身ともに健やかな子ども

1. 元気な子ども
2. 自分で考え行動する子ども
3. 思いやりのある子ども
4. 素直に表現する子ども

■教育・保育の特色

自然、あそび、仲間を大切にした教育・保育での様々な生活・経験を通して「生きる力」の土台をつくります。

0歳児から就学前までの人生の土台を形成する最も大切な時期に、子どもたちには自分自身をかけがえのない存在として肯定する心と仲間たちをかけがえのない存在として認める心を育んでほしいと考えています。保護者の皆様と地域、教職員がつながり、子どもたちの成長を心から喜び合える「笑顔 あふれるこども園」づくりをしていきます。

きどきどジャングルネット

本園の特色ある取り組み

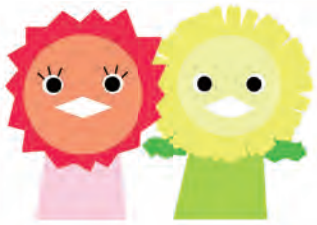
- **職員配置**：各クラス２人担任制（幼児）
- **特別保育**：英語、サッカー
- **食育活動**：バケツ稲・菜園活動
- **充実した環境設備**：天然芝、砂場、スロープ、きどきど等
- **大学との連携事業**：教育・保育の実践、学生交流等
- **質の高い職員研修**：京都橘大学と連携して 実施中
- **地域の子育て交流拠点**：子育て支援ひろば「ひだまり」での各種講座、一時預かり保育

特別保育　英語

大学との連携

菜園活動

たちばな大路こども園
YouTube チャンネル


ひだまりん　たんぽぽん

リンク集

京都橘大学 淳芳会

京都橘大学 淳芳会は、卒業生全員が加入する同窓会で、第1期生が卒業した1971年に設立されました。現在では、25,000名を超える会員数となっています。会員相互の親睦をはかり、また京都橘大学の教育・研究活動を支援することを目的としています。詳しくは、本学HP(「京都橘大学 淳芳会」で検索)をご覧ください。

京都橘大学 父母の会

京都橘大学父母の会は、「大学と家庭との連絡を緊密にして教育の効果をあげ、大学の発展に寄与すること」を目的としています。父母の会の行うさまざまな教育事業や各種事業を通じて、ご家族の皆さまに大学の現状や教育方針をご理解いただき、お子さまの学生生活がより豊かになるようにご協力をいただいています。

父母の会活動紹介
動画配信中！

2023 年度コミュニケーションサイト「!? 予想外にいこう。」

京都橘が脈々と歩んできた歴史、切磋琢磨して教職員が切り拓いてきた改革の軌跡、社会で様々に活躍している卒業生、地域に支えられ発展してきた道のりを振り返り、予測困難な時代に予想外な未来を学生とともに楽しみながら生み出そう、というメッセージを込めています。

「!? 予想外にいこう。」
特設サイト

たちばな教養学校 Ukon

2023年春「生きる」をもっと深く味わうための新しい学びのプロジェクト「たちばな教養学校Ukon」が開講しました！
学頭に河野通和氏(編集者・読書案内人・本学客員教授)をお迎えし、自然や生命のなりち、社会のあり方、私たちの生き方を問いながら、「ともに学ぶ」を通して、自他の関係を見直し、〈ケア〉の精神に生かされた寛容な社会をめざします。

たちばな教養学校 Ukon
特設サイト

UICKRadio

FM-KYOTO「α-STATION」で京都橘大学のラジオ番組「UICKRadio」が毎月第１・第２水曜日に放送中です。DJの前田彩名さんが毎回、教員や学生をゲストに迎え、子どもから大人まで、明日誰かに伝えたくなるワクワクするお話をお届けしています。

UICKRadio
ALPHA-STATION89.4

「UICKRadio」
過去の放送回
YouTube

シンガーソングライター 河口恭吾さんと創る「応援ソング・プロジェクト」

楽曲とMV
YouTube

京都橘大学
京都橘大学大学院
〒607-8175　京都市山科区大宅山田町 34
TEL　075-571-1111

京都橘中学校・高等学校
〒612-8026　京都市伏見区桃山町伊賀 50
TEL　075-623-0066

たちばな大路こども園
〒525-0032　滋賀県草津市大路 2 丁目 1 番地 55 号
TEL　077-516-0180

京都橘学園基金サイト